

令和2年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

福島県

行事名称	第67回文化財防火デーに伴う堂山王子神社防災訓練
実施期間・日時	令和3年1月24日（日）午前10時30分訓練開始／午前11時09分訓練終了
実施場所	国指定重要文化財 堂山王子神社本殿 境内ほか（福島県田村市船引町門沢字堂山地内）
主催者	堂山王子神社本殿保存会・田村市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

「県下全域に乾燥・強風注意報が発令されている最中、堂山王子神社本殿西側の雑木林から出火し、おりからの強風で神社本殿へ延焼拡大する急迫した状況下」を火災発生との想定とする。

訓練の内容

①訓練通報 ②指定文化財持出訓練 ③消防設備操作訓練 ④放水訓練 ⑤防火診断 ⑥消火器操作訓練

参加者及び役割分担

- ①文化財管理者（神社総代4名）－訓練全般の総括を行う
- ②教育委員会担当者（1名）－訓練全般の総括を行う
- ③地域住民（神社自警団を上郷・下郷行政区の区長（2名）、副区長（2名）・組長（13名）により組織している）
 - ・通報班（1名）－119番通報を行う。その後、持出班に協力する
 - ・持出班（4名）－本殿内の指定文化財の持出しを行う
 - ・初期消火班（10名）－境内2箇所の放水銃により放水を行う
- ④地元消防団（19名）－消防署員と協力し、ホース延長及び中継放水を行う
- ⑤地元消防署（7名）－消防団員と協力し、ホース延長及び中継放水を行う。また、管理者を対象とした本殿内の防火診断、地域住民を対象とした消火器操作訓練を行う
- ⑥その他協力団体として、地域の防災器具取扱会社（1名）

特に工夫した点

参加者は冬季の寒い中、細心の注意を払い、手順ミスのないよう緊張感をもって訓練に臨んでいる。コロナ禍での訓練のため、集合時の検温、マスクの着用、アルコール消毒液の設置、密を避け人との距離をとる、開会式・閉会式の省略及び簡略化による時間短縮等のコロナ対策を講じ実施。

問題点・課題

訓練内容は例年同様であるが、自警団員（組長13名）が毎年変更することから、同じ訓練内容でも継続して訓練を実施し、地域住民の文化財に対する防火意識の向上に努めたい。

その他

毎月、定期的に文化財管理者が複数回本殿等の巡視と境内清掃等を行っている。また、年2回既存消防設備の点検を専門業者が行っている。

訓練風景



指定文化財持出訓練



放水訓練



消火器操作訓練